

*活動報告



2017年3月12日(日)

活動概要

- ・ 毎週水曜日の活動時に食事提供を実施。
- ・ 対象人数は、大人含め20人程度。
- ・ 子どもは無料、大人から200円を徴収。

目的

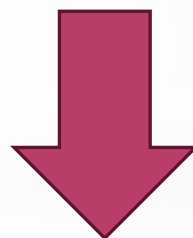
- ・ Kacotamの活動と連動して、ひとり親家庭の子どもたちに対する食生活支援を行う。
- ・ 共食の機会をつくる。



食事を作る上で...

- ・ 成長期の子どもに必要な栄養を十分に摂れるような食事を作りたい。
- ・ 季節感がある献立になるような食材を選択したい。
- ・ 様々な食材、料理に触れさせ、食経験を充実させたい。

これらを実現させるためには...



安定した財源が必要となる。

フードバンクの活用

フードバンクとは

規格外の作物や獲れすぎた産物、賞味期限の迫った商品など廃棄物として廃棄されてしまうものを、食に助けが必要な方や福祉にかかわる団体・施設に届ける活動のこと。

メリット

- ・限られた資金の中で、使用できる食材の幅が広がった。
- ・食材費に余裕ができた。

デメリット

- ・賞味期限の迫っているものや状態の良くない野菜が多く、無駄にならないように活用するためには、保存方法の検討、下処理に手間がかかってしまう。
- ・配達ではなく、自分たちで受け取りに行かなくてはならないため、車が必要になる。



クラウドファンディングサイトの活用

クラウドファンディングとは
インターネットを介して、不特定多数の個人から資金を集めるサービスのこと

活動の紹介、資金が必要な現状などをサイト上に掲載し、目標額20万円と設定し、40日間かけ呼びかけた。

メリット

- ・自分たちの活動を不特定多数の人々に知ってもらうチャンスとなる。
- ・活動に賛同してくれる人がいることに気が付けること。

デメリット

- ・自分たち自ら宣伝し、周りの人を多く巻き込む必要があること。
ある程度の人脈が必要になる。
- ・目を引くようなページになるよう、こまめに活動状況を更新する必要がある。

賛同して下さった方々からの支援

- ・ 一般市民の方からの食材提供
活動がテレビや新聞で報道されたことがきっかけとなり、市民の方から食材を定期的に提供して頂いた。

食材を提供して頂いたことによって、使用する食材の幅が広がったことや食経験を豊かにすることにつながった。充実した食事提供が可能になった。

- ・ 他団体からの支援



商店街との連携

活動当初から活動拠点地の麻生商店街と連携

- ・ お米、調味料を提供していただいた。



まとめ

- ・自分たちから活動を発信していくことが、支援の輪を広げることにつながる。
- ・社会資源の活用
- ・お腹を満たすだけでなく、栄養を十分に摂取するためや食経験を積むためには、多くの食材が必要になる。
- ・活動を充実させるため、継続していくためにはまだまだ支援が必要。